

# I 学校経営

## 1 経営の基本理念

人格の形成を目指し、平和で民主的な世界の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な人間の育成を期して教育を行う。また、教育の究極の目標は「子どものために」の考えを基本理念に据え、学校全体で取り組む。

## 2 学校教育目標

### (1) 総括目標

一人一人が夢をもち、たくましく生きる子

### (2) 具体目標

- ① 考える子・・・・・・・・・・知  
自ら考え、よく学び、進んで取り組む子
- ② 心豊かな子・・・・・・・・・・徳  
思いやりの心をもち、決まりを守り、助け合う子
- ③ 健康な子・・・・・・・・・・体  
心身ともに丈夫で、体をきたえ、安全に行動する子

## 3 目指す教育像

### (1) 目指す児童像

- ① 常に夢や希望をもち、目標に向かって行動する子
- ② 友だちを大事にし、優しい心で行動する子
- ③ 最後まで、ねばり強く行動する子

### (2) 目指す教師像

- ① 教育に対して常に使命感をもち、自己研鑽に励む教師
- ② 子ども、保護者、同僚から信頼される教師
- ③ 教育公務員として規律ある行動ができる教師

### (3) 目指す保護者像

- ① 子どもに愛情をもち、全力を尽くす保護者
- ② 教師を信頼し、一緒に学び合う保護者
- ③ 学校と連携し 協働の精神で取り組む保護者

### (4) 目指す学校像

- ① 学校と地域が連携し、子どものために取り組む学校
- ② 児童、教師、保護者、地域が信頼し合い、共に学び合う学校
- ③ 市内、県内だけでなく、全国を視野に入れて取り組む学校

## 4 学校経営方針

- (1) 学校・学年・学級が一貫性をもって、学校教育目標の具現化に努める
- (2) 児童と教師が、毎日行きたくなる楽しい学校づくりを行う
- (3) 児童一人一人に、確かな学力を定着させる
- (4) 生徒指導・教育相談を充実させ、不登校児をなくすようにする
- (5) 健康で安心、安全な学校づくりを行う
- (6) 教師が研究に意欲的で、常に教育公務員として規律ある行動ができるようにする

- (7) 幼・小・中学校が連携して教育活動に取り組む
- (8) 家庭・地域・関係機関と連携を密にした学校づくりを行う

## 5 学校経営の具体的目標

- (1) 確かな学力の定着
  - ① 普段の授業を充実させ、学力の向上を図る
  - ② 本校の研究に沿った講師を招聘し、授業研究会を充実させる
  - ③ 家庭学習の習慣化を図るため、保護者と連携を密にする
  - ④ 組織力、機能化、継続力をキーワードに学校全体で取り組む（全国学力調査等）
- (2) 生徒指導・教育相談の充実
  - ① 児童の実態に基づいた生徒指導及び教育相談体制の確立を図る
  - ② 生活リズムの確立を図る（早寝・早起き・朝ご飯の確立）
  - ③ いじめ対策を行うとともに、児童の「居場所づくり」と「出番づくり」に努める
  - ④ 家庭・地域・関係機関・団体との連携を図る
- (3) 健康・安全教育と危機管理能力の推進
  - ① 小児生活習慣病・歯の健康教育・薬物乱用防止の指導を徹底する
  - ② 日常的に安全点検を行い、安全確保の充実を図る
  - ③ 「いかのおすし」を徹底させ、不審者対策を図る
  - ④ 地域安全ボランティアと連携して、安心安全を確保する
- (4) 環境教育の充実
  - ① 学校版 ISO4001 を実施する（光熱費の削減、ゴミ減量、リサイクル活動）
  - ② 児童会活動との連携を図る（計画的植栽・清掃活動の充実・花いっぱい運動）
  - ③ 保護者・地域と連携して充実を図る（緑のブラインド事業等）
  - ④ NPOと協働で実施する
- (5) 国際理解教育及び外国語教育の推進
  - ① JTEやAETと連携し、授業の工夫改善を図る（英語教育の充実）
  - ② 小・中学校の英語担当が連携を図り指導を充実させる（小・中校相互の授業参観）
  - ③ 小・中連携カリキュラムを有効活用し授業実践に生かす
  - ④ アメリカンスクール等との交流を通して国際理解教育の充実を図る
- (6) 特別支援教育の充実
  - ① 特別支援を要する児童の実態に合わせた教育を行う
  - ② 特別支援コーディネーターを中心に特別支援教育校内委員会の充実を図る
  - ③ 個別の教育支援計画を作成し、特別支援を要する児童の指導にあたる
  - ④ 特別支援学級と協力学級との連携を密にして指導の充実を図る
- (7) 幼・小連携教育の充実
  - ① 幼稚園から小学校へのたすきをしっかりとつなぐようにする
  - ② 幼・小が互恵性のある連携ができるようにする
  - ③ 小学校の単学年ではなく、全学年と連携が図れるようにする
  - ④ 学校行事等を通して連携が深められるようにする
- (8) 施設・地域人材を活用した教育の推進
  - ① 各種施設を有効活用し、各教科や総合的な学習の時間等に生かす
  - ② 地域の学校支援ボランティアを有効活用し、学校教育の拡充を図る
  - ③ 「ゆうゆう会」を積極的に活用し、教科指導等の充実を図る
  - ④ 地域人材のネットワークを構築し、協働をキーワードにした教育活動を展開する